

トヨタ自動車株式会社

藤原 百合子

法学部政治学科（派遣時2年、2012年3月卒業）

留学期間 | 2010年1月～2010年7月

留学先大学 | 3キャンパス合同東アジア研究プログラム
（中国・韓国）

履修科目数（各学期） | 香港大学4科目、延世大学4科目



3キャンパスプログラム閉会式にて

遡及進級しましたか？	遡及進級しました。大学を4年間で卒業することを親と約束していたため、また、帰国時期が十分就職活動に間に合い、同級生と一緒に卒業したかったためです。
就職活動の開始時期は？	2010年10月
内定はいつ頃もらいましたか？	2011年6月初旬（東日本大震災のため内定先の選考が6月開始に延期）
留学が進路・就職先等に与えた影響はありますか？	ありました。
留学はどのように就職に役立ちましたか？	留学自体が、自分がどういう人間かを考えるきっかけとなり、留学することにより、自分が何をしたいのかを考える時間を得ることができました。同時に、それぞれ違うキャリアプランを持っている各国の学生と話すことで、日本での働き方や就職活動について考え直すことができ、自分が何をしたいのかをそれまでとは違う観点からも考えられるようになりました。また、留学先の三田会の方々と話すこともでき、貴重な助言を伺うことができました。
留学が就職に不利に働いたと思ったことはありますか？また、それをどのように克服しましたか？	特にありませんが、強いて言えば、夏のインターンに参加できなかった点です。しかし、特にそれを不利とは思いませんでした。私の場合は2年次に留学を始め、3年の夏休みに遡及進学することができたので、10月からの就職活動に不利益は全くありませんでした。しかし、もし日本で外資系の企業を受けるならば、早めに準備した方がいいと思います。

留学することで就職活動に支障が出ることは、基本的にはないと思います。留学という理由で留年したり休学したりすることはマイナスとは映りませんし、むしろもし留学したいという希望があるのなら、人生最後かもしれない学生生活に心残りを持ったまま働き始める方が不幸だと思います。卒業してから（時には数年をインターンや旅行で過ごしてから）職探しをするのが普通の海外の学生達からは、3年生の途中から就職活動をしなければならない日本はむしろ変わっている、とよく言われました。周りに流されず、自分のやりたいことをやり抜くという姿勢は、留学でも就職活動でも最も大事なことはないかと思います。



韓国でのメンバーの誕生日パーティ



韓国でのシティツアー